

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 彩のかけはし	事業所名	看護小規模多機能つしまの郷
所在地	(〒 950-0801) 新潟県新潟市東区津島屋 7-1-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・看護小規模の強みを活かし、在宅生活を送ることができるよう本人や家族の要望を尊重しサービス提供に努めています。
- ・つしまの郷を利用して笑顔で過ごしていただける様に一人一人に寄り添ったサービス提供を心掛けています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 12 月 20 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 26 日	出席人数 (合計)	(9) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (2 人) ☐ 市町村職員 (〃 人) ☐ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☐ 地域住民の代表者 (3 人) ☐ 利用者 (1 人) ☐ 利用者の家族 (1 人) ☐ 知見を有する者 (1 人) ☐ その他 (〃 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		① 自然災害発生時や感染症発生時の業務継続計画 (BCP) について職員間で共有していく ② 法人内外の研修にて専門性の向上、サービスの質の向上に努める (地域住民の参加できる研修については検討していきたい) ③ 人材の確保を行い職員が働きやすい環境を整えより良いサービスの提供を行う	① BCP について災害時の訓練を地域の方にも参加して頂いた。BCP についての研修で職員への周知に努めた。 ② 法人研修は年間計画で全員が参加でき、外部研修についても専門性の向上に繋がるように参加することができた。 ③ 職員が働きやすいように希望通りに休暇が取得でき急な勤務変更も職員間協力体制を整えた。	・災害時の業務継続について研修や訓練を行ったが、職員への周知については今後も定期的な訓練や研修が必要であり、BCP については随時見直しを行う。 ・災害訓練は地域の人との繋がりが大切、日頃から自治会の集会などに積極的に参加し地域住民への周知を行う事が必要とのご意見を頂く ・研修については外部研修への参加の機会を多く持てるように参加しやすい体制を整えることができた。 ・人材の確保は重要項目の一つであり、今後もより良いサービスをお願いします。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	① 家族も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントを行い看護職と介護職で情報を共有する。 ② 看護小規模の機能を活かし、看護師を中心とし予後・予測を踏まえた計画を作成する	① 在宅での生活状況など看護職・介護職間で専門性を活かし情報を共有した。 ② 医療ニーズの高い方や病状に対して今後起こり得る予後・予測について看護師と連携し計画を作成した。	・看護職、介護職それぞれの視点から生活状況の変化等の些細な事柄の情報について共有することができた。 ・看護師から疾病について医療的なことについて情報提供や提案を受け計画の作成に反映した。家族とのコミュニケーションも重要である。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	① 365 日、24 時間体制の構築のために職員全員がサービスを理解し多職種連携の重要性を理解する。	① 状態の変化や緊急時の対応について医師を含めた多職種で連携に努めた。 ②退院後に安心して在宅生活がスムーズ	・看取りを含めた緊急時の対応についてご本人やご家族が不安のないよう、医師や医療機関との連携を行った。

		② 退院後の在宅生活への移行に向け医療や多職種連携のもと情報を共有し在宅生活を支援する。	に行えるように退院前カンファレンスで多職種と情報を共有、連携に努めた。	・退院前カンファレンスで多職種連携のもと家族・本人が在宅生活へ不安なく移行できるように支援した。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	① 事業所の役割を理解して頂ける様に地域への啓発活動を増やす。 ②医療ニーズの高い利用者の受け入れを積極的に行える体制を整える。	① 広報誌を定期的に町内の回覧して頂く。地域の行事に参加する。 ② 医療ニーズの高い利用者の受け入れについて看護師から介護職へ周知を図った。	・地域の自治会長に広報誌の回覧等でつしまの郷を地域に知ってもらう。大形フェスに利用者と参加することができたので今後も積極的に地域の行事に参加していきたい。 ・介護職員が医療ニーズの高い方の受け入れに不安がないように連携を図った。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)		看護職・介護職の専門性を活かし、利用者・家族が安心して在宅生活が送れるよう継続的な支援を行う。	在宅生活の継続に限らず看取りとなった場合でも家族・本人が安心感を得られるような支援をする。	・主治医、家族、事業所との連携をはかり状況変化に対応することができた。今後どんな変化にも対応できるように連携を行う。 訪問や泊り通いを調整し対応することで在宅生活が安心した生活が送れるよう支援した。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		災害時は地域の人との繋がりが大切になるので日頃から自治会など積極的に地域とのかかわりを持つことが必要であり、業務継続計画（BCP）についてはすべての職員への周知徹底できるよう日頃から意識することが重要である。	①自然災害発生時や感染症発生時の業務継続計画（BCP）に基づいて災害時の対応方針の共有 ②法人外の研修の機会を増やし専門性の向上やサービスの質の向上に努める。 ③事業所理念を再認識し実施できる体制の確保
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者や家族への十分な説明を行い、理解を得ることで信頼関係が生まれる。看護職・介護職からの専門的なケアを受けることで安心して生活を送る事ができる。	①介護職と看護職がそれぞれの視点からのアセスメントでの共有化、状況変化に適宜計画への反映を行う。 ②家族を含めた在宅での生活状況の変化の把握に努める。 ③利用者、家族へサービスの趣旨・サービス内容・医療的処置方法など迅速に説明を行い十分な理解を得られるようにする。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	少ない人員の中での体制は限界があると思うので、組織・システム・ハードの面も構築が必要になってくるとのご意見を頂いた。	①緊急時・急変時の対応を全ての職員が周知できる体制の構築に努める。 ②退院後も安心して在宅生活が送れるよう関係各所との連携に努める。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	医療関係の利用者の方は、常に目配り気配りとご家族との連携・支援が重要になる。看多機のサービスの周知拡大をはかり医療ニーズの高い利用者の受け入れできる体制作りが大切である。	①医療ニーズの高い利用者の受け入れが常時できる体制づくりを継続する。 ②看護小規模多機能のサービスを周知してもらえるよう地域への啓発活動の場を増やす。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		地域密着型サービスの中での看護小規模多機能の役割・特徴を生かし在宅生活が安心して継続できるような支援をしていくことが重要である。	①看護職・介護職の専門性を活かした看護小規模多機能のサービスの導入により安心して在宅生活を続けて頂けるかを意識してサービスの提供に努める。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	1	10	2	0	おおよそできていると思います。目につくところにあることは、皆さんで共有できることは感心します。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・①～⑤までの理念を掲げており、目に着くところに張り出している。 ・サービスの利用にあたり家族の負担軽減となるよう支援している。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	0	12	1	0	新人研修を通し前からいる職員も考えが新たになる。特徴を生かし支援ができる。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・事業所の理念に基づいて包括的に実践している。 ・サービスの特徴を生かし実践している。 ・新人研修を通し事業所の理念を学んでい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		る。					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	0	6	7	0	・育成計画と職員の離職率が繋がっていることが重要であると感じます。 ・職員の目標管理などの育成計画作成があれば行動しやすいのではないのでしょうか。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・各職員へ半期ごとの目標管理や人事考課の際には面談を行っているが、中長期的な育成計画は作成していない。 ・新人研修や外部研修、施設内研修など年間計画があり実施されている。 ・毎朝のミーティングや会議にて多職種を交えた意見交換を行っている。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保して	1	9	3	0	・どうしても内部で完結しがちになると思います。積極的に外部の風を入れてください	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・法人内研修は毎年計画に沿って実施し全職員が参加している。 ・外部研修へ専門技術向上のため参加し					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ている ・外部から専門の講師を招いての研修が 行われている。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	1	12	0	0	・とても良い環境だと思います。 ・これからも情報の共有を頑張ってほしいです。 毎日の伝達ノートの利用は素晴らしいですね	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・小さな情報でも職員間で共有することができている。カンファレンスを行い多職種の意見交換を行っている。 ・毎朝のミーティングや伝達ノートで情報を共有している。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	0	12	1	0	運営推進会議で出た、要望等を取り入れてサービスに反映できたらうれしいです。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内] ・運営推進会議で得た要望や助言を職員間で話し合いサービスに反映することができている。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	1	9	3	0	協力体制の強化（人員等） 希望休や有休の他に職員の誕生日を休日にすることはできませんか。人員のこともあるので大変かと思います。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のため
		[具体的な状況・取組内容] ・希望休や有休は希望とおりに取ることができる。 ・連日の有休が思うように取れるような人					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		員がいない。 ・職員が感染症などで勤務ができないときに、休んだ職員の精神的な負担や勤務にあたった職員の身体的負担がある。 ・業務の負担が偏らないように協力しながら業務にあたっている。 ・残業することも少なく定時に退社できている。				残業が少ない事はすばらしいと思います。	評価の視点・ 評価にあたっての補足 の支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	10	2	0	高齢者の方の体の変化があるので迅速に共有があることは大切です。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します。
		<u>具体的な状況・取組内容</u> ・知りえた情報は記録に残し繰り返し確認できるようにしている。 ・ミーティングで迅速に情報共有している。					
(5) 安全管理の徹底:							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	10	2	0	特になし	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の犯対策」、「個人情報保護」など
		<u>具体的な状況・取組内容</u> ・ヒヤリや事故発生時は再発防止を職員間で話し合いを行っている。 ・送迎での交通ルール、訪問に関するルール等、各業務でマニュアルがある。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 が考えられます
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・安全運転講習会やドライブレコーダーの 搭載にて交通安全への意識向上に繋がっ ている。					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において も、サービス提供が継続で きるよう、職員、利用者、関 係機関の間で、具体的な対 応方針が共有されている	1	3	7	1	自己評価にバラツキがあるの で共有する必要があると感じ ます。 この間の運営推進会議の時 に、緊急時に施設の方だけで はなく、近くの方が来た場合 も考えておいてほしいです。	✓ 「緊急時におけるサービス提供 のための備え」について、充足度 を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確 化」、「連絡先リストの作成」、「医 療材料などの確保」、「災害時ケア のマニュアル化」などが考えられ ます
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を 含む、利用者等の 24 時間の 暮らし全体に着目したアセ スメントが行われている	0	11	1	1	特になし	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮ら し全体に着目したアセスメント」 の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護 小規模多機能型居宅介護におい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・ご本人やご家族の様々な家庭環境や生活状況の暮らし全体を把握している。 問題点がある場合は職員間で検討するなど情報を共有している。 ・在宅時の様子など聞き取りや訪問時の観察から暮らし全体を把握して課題分析を行っている。					では、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	1	12	0	0	素晴らしいと思います。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看護、介護で話し合い情報共有している。 ・申し送りや普段の会話の中で気になる点について話せる雰囲気作りを行い共有している。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	1	11	1	0	ご本人の意向はどのように反映されているのか？	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ケアプラン作成にあたり、本人・家族の意向を把握し計画に反映させている。 ・ケアプランを基に新たな問題や築きがあれば報告改善している。 ・利用者や家族の状況に変化があった際にも再度確認をしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	0	11	2	0	特になし	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
[具体的な状況・取組内容] ・日常生活動作や残存能力の維持を目指した計画になっている。 ・利用者の有する能力を活かし心身機能の維持回復、生活機能維持向上を目指すことを重視した計画を作成している。 ・地域において自立した日常生活を営むという点は難しいですがサービス利用時には有する能力を活かしている。							
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	0	12	1	0	特になし	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
[具体的な状況・取組内容] ・看護師からの情報・意見を受け、変化等を見落とさないよう共有している。 ・利用者の疾患について看護師と今後のリスク・予測について助言してもらい、リスク管理を行っている。 ・身体状態の変化や今後起こり得る症状の予測した計画を作成している。							
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	2	11	0	0	利用者の状況変化は家族の方も小さな変化がある場合は、すぐに知らせてほしいです。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・小さな変化でも見逃がさず職員間で共有し適宜変更している。 ・利用者の状況の変化がある場合は随時計画の見直しを行っている。							
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	0	13	0	0	家族の方の小さな悩みを聞き、ケアやサービスの支援に繋げてほしい。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
・訪問時には生活状況をよく観察し継続的な把握を行っている。 ・訪問することで家族の状況の変化を把握し変化に伴ったケアを提供している。							
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	12	0	0	特になし	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] 主治医へは毎月報告書で情報を共有し関係機関とも状況の変化について情報の共有をお行っている。							
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	1	12	0	0	素晴らしいと思います。 ・柔軟な役割分担と連携を取られていることは大変重要です。ご苦労様です。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	1	12	0	0	特になし	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	2	11	0	0	特になし	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	12	0	0	特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ サービスの内容については、本人・家族が理解しやすいように説明を行っている。忘れていることもあるので、その都度説明し誤解のないように努めている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	11	1	0	特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ 作成した計画の内容や在宅での生活の留意点や継続について利用者に説明している。 ・ 在宅での療養生活について看護職より説明し理解を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	12	0	0	特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ 利用者、家族には医療的なケアについて説明を行い理解を得ている。 ・ 口頭だけでなく実際に行いながら説明し理解を得ている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表	1	11	1	0	・ ご家族様との相談が大切	✓ 「サービス提供への適切な反映」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・家族の希望を聞きサービスの提供に反映している。 ・家族の急な変更や希望にも柔軟にサービス調整を行っている。 ・本人の気持ちをくみ取り希望や意向を把握する努力をしている。				だと思います。	について、充足度を評価します
26	○在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	1	9	3	0	難しい部分だと思いますが長くサービスをご利用して頂くには必要なことだと思います。	✓「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
27	○終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	1	7	3	2	・職員個々の思いや考えがあるとします。それを一致するのは難しいですが、研修等で共有することが大事だと思います。 ・終末期ケアの対象者のとりあつかいは大変だと思いま	✓「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・家族の思いや意向を聞き、予後及び死ま での経過を説明し記録している。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	12	0	0	特になし	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	1	12	0	0	特になし	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 を主治医等と相談・共有しておく ことが重要です
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	1	11	1	0	特になし	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・コール番、宿直番が即座に対応できる体制になっている。 ・24時間対応できる体制となっている ・医師から指示書を頂いていない利用者については救急対応となっている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	1	12	0	0	出来ていると思います。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議にて利用者家族、地域包括支援センター職員、民生委員、地域住民、他事業所等へ情報提供を行っている。					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	10	0	0	特になし	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・施設の玄関にファイリングされ、いつでも閲覧可能となっている。 ・ホームページでも閲覧が可能となっている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	0	8	5	0	地域の行事への参加の数を多くし、いろいろな人達とのつながりを作ること こうした活動の積み重ねが大切だと思います。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・地域自治会へ事業所のパンフレットを地域の回覧板に添付してもらったが回数が少ない。 ・防災訓練に地域の方も参加してもらった。 ・地域行事へも参加した。					
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介	0	0	0	13	特になし	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	[具体的な状況・取組内容] ・指定なし					併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	0	0	0	13	スキルUPとしては必要だと思います。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・介護職員の喀痰吸引研修の受講者が少なく、受け入れ体制が整っていない。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とす	0	0	0	13	特になし	✓ 「積極的な受け入れ」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・人工呼吸器を必要とする要介護者の受け入れは整っていない。					充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており積極的に受け入れている	1	7	5	0	特になし	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	0	1	9	4	特になし	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 針や計画などがない場合は、「全 くできていない」
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアにつ いて、特定の集合住宅等に 限定せず、地域に対して積 極的にサービスを提供して いる	8	5	0	0	幅広く、いろいろな地域・自 治会に声掛け、チラシ配布な どを行う。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しな い、地域への積極的な展開」につ いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、 特定の集合住宅等に限定するこ となく、地域全体の在宅療養を支 える核として機能していくこと が期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象と している場合は「全くできていな い」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地 域の関係者に対し、必要に 応じて課題提起や改善策の 提案等が行われている	0	4	1	7	上記に同じ様になるかと思 います。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の 取組」について、その充足度を評 価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやイン フォーマルサービスの開発・活用 等、利用者等のみでなく地域にお ける課題や改善策を関係者に対

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	0	7	6	0	・大変だと思います。 家族の中でも考え方等も違うので ・利用者さん、家族の皆さんが、いつでも必要に応じて相談できることは、素晴らしい	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている。	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・計画目標の達成が困難になった場合は、随時計画の見直しを行っている。	サービスの導入に利用者の満足度が、ほぼほぼ達成されているので、利用者、家族も安心して任せられることです。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・在宅生活での医療が必要な場合、家族に安心して頂ける様、報告や相談を行っている。 ・家族や本人の不安な点を相談を受け多職種と話し合い、より安心して生活を続け	同上 <u>上記に同じ</u>	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		られるようなケアを提供している。		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている ④. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] ・在宅（事業所を含む）での見取りを希望される方は少ないが、見取りの場合は家族に対して丁寧に説明し安心して頂ける様に尽力している。 ・主治医や家族との連携により状況変化に対応している。訪問や泊り、通いを調整し対応することで安心して頂いている。	施設入所する人で、在宅で看取りを希望する人が多いかも知れませんが、家族関係で在宅困難の人には、丁寧な説明で安心して頂ける様にしてほしい。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」